

□ 出張報告書  
 ■ 会議議事録

書類番号 : 研-DB13-142

作成日 : 平成25年 9月 11日



住友精密工業株式会社

件名

2013年9月度部内会議議事録

部課名

研究部

認可

上森

審査

—

作成

孫崎

日 時	平成25年9月10日(火)15:30～17:30	場 所	FC/研究部会議室
出席者	八木常務、上森部長、高橋技師長、高祖M、山中M、佐藤G長、西田次長、法龍院AM、孫崎		
関連資料	2013年9月度研究部 部内会議資料		
配布先	出席者×1、久田技術主幹、内田G長、久野ラボ長		

下記に質問とアクション事項をまとめる。(アクション事項は青字で示す。)

## 1. 共通

- (1) 今後、社外よりビジネスマッチングの依頼が来た場合には、高橋技師長が窓口をされる。
- (2) 9/14(土)に消防用設備年次点検がある。施工業者による点検であるため、作業中にモノが落ちたりすることもありうるので、職場を整頓すること。また、秘密文書を机の上に置いたままにしないこと。

## 2. 研究開発状況報告

## 2.1. 基盤技術連携グループ

## (1) Northfinder

- ・ 変更後の材料(6061 と Ti-6Al-4V)は電食は大丈夫か。⇒問題ない。
- ・ 強度が大幅に低下するが問題ないか。⇒SKK にて耐久試験を再実施の予定。
- ・ ライセンス費用の見直し案で 2010 年以降(SKK とのビジネス開始以降)の開発費をベースにしているが、むしろ、それ以前の開発費(¥538M-¥180M)をベースとするのが理にかなっているのではないかな。⇒創事業部にお任せしている。

## (2) JAXA(宇宙用高精度 MEMS ジャイロ)

- ・ フルデジタル化は始めているのか。⇒下期スタートする。

## (3) JAMSTEC(参考、創事業部案件)

- ・ 700 万円(松竹梅の松コース)の費用見積を減額するのならば、開発内容も竹コースのレベルにすべきではないのか。
- ・ 台数は?⇒AUV(水中航走体)1 台に 1 個のみ(ジャイロは 3 個)。但し、AUV は時速 5km 程度の低速であるため、広い海域を調査するには、多くの台数が必要となる。

## 2.2. 新材料実用化グループ

## (1) ALM

- ・ 引張試験片は作成するのか。⇒作成する。

## (2) HTCC

- ・ ガス発生量を比較しているが、条件は揃っているのか。⇒全て同じ条件ではない。
- ・ 膨れに焦点を当てているが、新たな課題なのか、以前から発生している現象なのか。⇒過去実施したロウ付けサンプルを確認すること。

## (3) 潜水艦複合材プロペラ 剥離不具合

- ・ 工作基準作成(文書作成のみ)はもっとかかるのでは。⇒来年度も継続する。売り上げは研究部とする見込み。

## (4) 脚材料関連 Side stay 実体製作

- ・ 技術的な実現性も重要だが、コスト的に成立するのか。⇒サイズ(概形)の情報が出てくるので、それを元に見積を取る等して、コスト検討を実施し、早めにコスト成立性について判断する。

### 2.3. 材料・プロセスリサーチラボ

- (1) 航機コラボレーション - Cr メッキマイクロクラック封孔剤
  - ・ ロックタイト LI-721B の本来の用途は。⇒元々は、嵌め合い用。
- (2) 航機コラボレーション - アノダイズメッキのマスク剤
  - ・ どのように剥がすのか。⇒ピーラブルペイント Hei-Mex 6501 は IPA で溶ける。手で剥がした後、残った分は IPA で溶かす。
- (3) 熱処理トリクレン洗浄
  - ・ テフロンコート繊維のコストは。⇒テフロンシートは 1 万円程度に対して、テフロンコート繊維は数百円。
  - ・ テフロンコート繊維のテフロンが剥げないか？⇒剥げたら廃棄することになるが、耐久性を確認する。
- (4) メッキ治具のアルカリ洗浄剤(ダイナミッククリーナーGC-S)
  - ・ どこから情報を得たのか。⇒2008 年から陸上自衛隊が使用しているとの情報を検索で得た。
  - ・ 今回の 4 件の改善による便益は大きい。社長賞の候補となる。
- (5) その他
  - ・ 1.4 ジオキサンは社内に溜まり続けているのか？⇒外部の処理業者に処理を依頼しているらしい。

### 2.4. 知財・技術管理 G

- ・ 特に無し

以上